



Fatboy Guitars UKは伝説の地、英国・ワイト島に拠点を置く工房として有名です。エイジングのマイスターとして名高い、代表のMark Foley氏が本気を出したピックアップのラインナップが遂に発売となりました。



01

JUN VOL.127 2014

The Philosophy of Fatboy Guitars

ハロー！
僕はマーク・フォーリー。電子/電気技術者として働き始めてもう34年になる。僕のピックアップに対する考え方を、「お客さま」の皆さんに向けて綴ってみた。

ピックアップとは第一に「インダクター（発電コイル）」であり、マグネットコアを銅線で巻いた構造を持っている。その動作はあくまでも物理法則にのっとっており、ピックアップビルダーが「こんな音が出たらいいな」と思ってネーミングした通りに動作するといったものじゃない。

「スキッター・ワインディング（不均等巻き）」や「ハンド・ワインディング（手巻き）」という言葉には、宣伝文句以上の意味はない。ピックアップのみならずエレクトロニクスの多くの分野で使われている語法に従えば、正しくは「キャパシタンス・ワインディング（Capacitance Winding：静電容量巻き）」と呼ぶべきだ。もし、皆さんがこの件について深く知りたいと思うなら、「寄生容量（parasitic capacitance）」について調べてみるといい。我々エンジニアがなぜピックアップの巻き方にこだわるのか理解できると思うよ。

それじゃ、一体いくつのタイプが異なったピックアップを作る必要があるのか？ PAFピックアップを例に考えてみよう。
仕事柄、僕は全て異なるネーミングがされた「PAF」ピックアップに、15以上の異なるモデルが存在するのを知っている。これは何を意味するのだろうか？ 1セットの完璧なPAFを作ることができなかったのか、市場原理によるものか？ 売れ行きに合わせて1セット作るたびに変更を加え続けた結果、15種類まで増えたしまったのか？
なぜだろうね？ 先入観を捨ててオリジナルPAFピックアップのサウンドをチェックするために、僕らの「EQ」を「フラット」にセットしてみよう。ピックアップの音色に影響を及ぼす要素には何があるだろうか？ ボディ素材、ネック素材、弦のタイプと太さ、ピックアップの高さ、指弾きかピック弾きか、ピックのタイプ……それだけかな？ ボットの値、キャパシタンスの値、リード線の長さ、アンプのセッティング、EQの設定、スピーカーの種類、音量 etc... 1つのピックアップにはたくさんの要素が影響を及ぼしているし、出てくるのはたくさんの異なったサウンドになる。こんな具合で、どうやって1つのピックアップを「これはPAFそのものです」と売り出すことができるだろう？ そんなの無理だし、単なる宣伝文句以外の何物でもない。

1950~60年代にかけて製造されたピックアップは、非熟練工の手によって作られていた。彼らは何よりも給料日のために、毎週何百個ものピックアップを製造していたんだ。今日の大量生産のプロセスと同じようにね。そこに魔法も聖なるアイテムもない、単なるプロセスとして。ワイヤーを巻かれたPAFのボビンは後日取り付けられるのを待つため大箱に放り込まれ、それら1つ1つの巻き数は一律じゃなかった。つまり、PAFをPAFらしいサウンドにしている一端は、全くの偶然によるものなんだ！

もし、あるピックアップが適切に巻かれていたなら、音色は大きくオープンになる。そのためには、ピックアップのマグネットが巻き数にマッチしてなきゃならない。全てのタイプのマグネットでグレートなサウンドが得られるわけじゃないし、ポジションごとに色んな種類のマグネットを使い分けなきゃいけない。全てを正しくマッチングさせることが、グレートなピックアップを作ることにつながるんだよ！

Fatboy FBG SVL Fifty Nine Reserve NOS

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3458]



FBG SVL Fifty Nine Reserveは、1959年製ストラトキャスターのサウンドをターゲットにした、シングルコイル・ピックアップセット。コイルはFatboy Guitarsが提唱するメソッド「キャパシタンス・ワインディング」により手巻きされ、ベースプレートやリード線も含めた全体構造で適正なインダクタンスが得られるように設計されています。ビビッドなハイ、心地よく豊かな響きは、単純に構造だけをコピーしたワインテージ・クローンと一線を画していると言えるでしょう。

- スペック
- ・直流抵抗：約5.8K~6.4Kohm ・マグネット：直径0.187" Alnico 3
- ・ポールピース：スタaggerド仕様 ・コイルワイヤー：ヘビーフォームバー
- ・インダクタンス：約2.4H~3.1H (ブリッジPUはスチールベースプレート付)
- ・ミドル・ピックアップは逆磁、逆巻 ・PUカバー、配線図付属

Fatboy FBG SVL Fifty Nine Reserve Aged

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3459]



Fatboy FBG 60 NOS

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3460]



FBG 60は、1960年代初期に生産されたローズウッド・フィンガーボード仕様のストラトキャスターのサウンドをターゲットにした、シングルコイル・ピックアップセット。コイルはFatboy Guitarsが提唱するメソッド「キャパシタンス・ワインディング」により手巻きされ、ベースプレートやリード線も含めた全体構造で適正なインダクタンスが得られるように設計されています。

- スペック
- ・直流抵抗：約6.0Kohm ・マグネット：直径0.195" Alnico 5
- ・ポールピース：スタaggerド仕様 ・コイルワイヤー：ヘビーフォームバー
- ・インダクタンス：約2.2 H ・ミドル・ピックアップは逆磁、逆巻
- ・PUカバー、配線図付属

Fatboy FBG 60 Aged

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3461]



Fatboy FBG Vintage Soul MC68 NOS

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3462]



FBG Vintage Soul MC 68は、1968~69年に生産されたラージヘッドのストラトキャスターのサウンドをターゲットにした、シングルコイル・ピックアップセット。コイルはFatboy Guitarsが提唱するメソッド「キャパシタンス・ワインディング」により手巻きされ、ベースプレートやリード線も含めた全体構造で適正なインダクタンスが得られるように設計されています。

- スペック
- ・直流抵抗：約6.2K~6.8Kohm ・マグネット：直径0.187" Alnico 5
- ・ポールピース：スタaggerド仕様 ・コイルワイヤー：ポリウレタンコーテッド
- ・インダクタンス：約2.4~2.9 H (ブリッジPUはスチールベースプレート付)
- ・ミドル・ピックアップは逆磁、逆巻 ・PUカバー、配線図付属

Fatboy FBG Vintage Soul MC68 Aged

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3463]



Fatboy FBG SVL Fifty Nine Reserve HOT NOS

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3464]



FBG SVL Fifty Nine Reserveを基本としながらも、SVL Guitarsのサイモン・ロウ (Simon Law) の要望を取り入れて開発された本機は、Robben FordのSVL 66ストラトにも搭載され、愛用されています。コイルはFatboy Guitarsが提唱するメソッド「キャパシタンス・ワインディング」により手巻きされ、ベースプレートやリード線も含めた全体構造で適正なインダクタンスが得られるように設計されています。ビビッドなハイ、心地よく豊かな響きは、単純に構造だけをコピーしたワインテージ・クローンと一線を画していると言えるでしょう。

- スペック
- ・直流抵抗：ネック：約 6.4k、ミドル：約 6.6k、ブリッジ：約 7.4k
- ・マグネット：直径0.195" Alnico 5 ・ポールピース：スタaggerド仕様
- ・コイルワイヤー：ネック&ミドル：ヘビーフォームバー、ブリッジ：プレーンエナメル
- ・インダクタンス：約2.4H~3.1H (ブリッジPUはスチールベースプレート付)
- ・ミドル・ピックアップは逆磁、逆巻 ・PUカバー、配線図付属

Fatboy FBG SVL Fifty Nine Reserve HOT Aged

¥60,000 + 消費税 [商品番号：3465]



株式会社 モントルー

〒187-0032 東京都小平市小川町2-1295-20
ガーデンヒルズ B-102 TEL: 042(202)0479

www.montreuxguitars.com